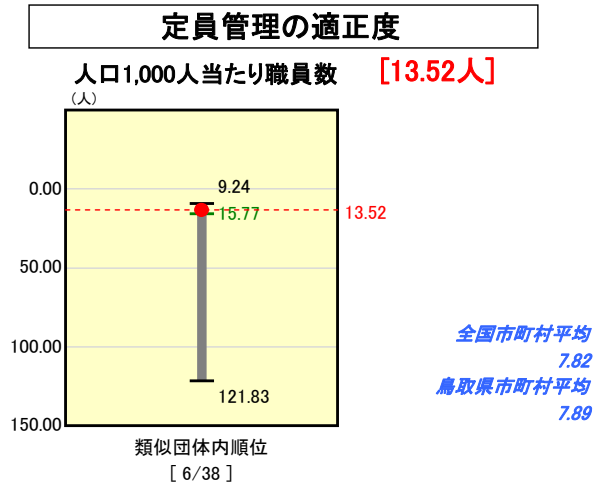
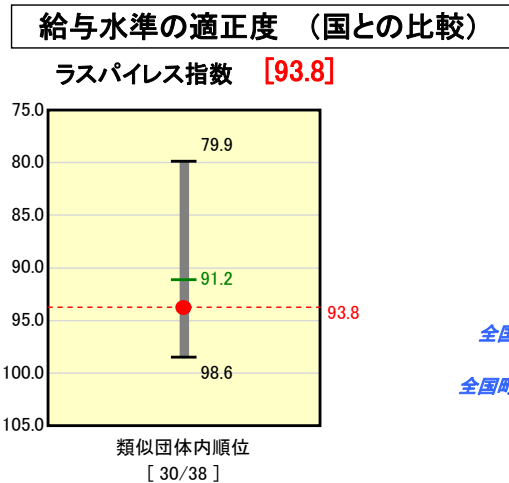
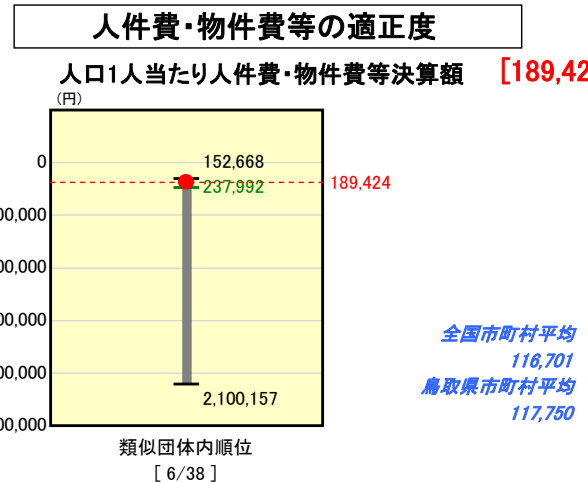
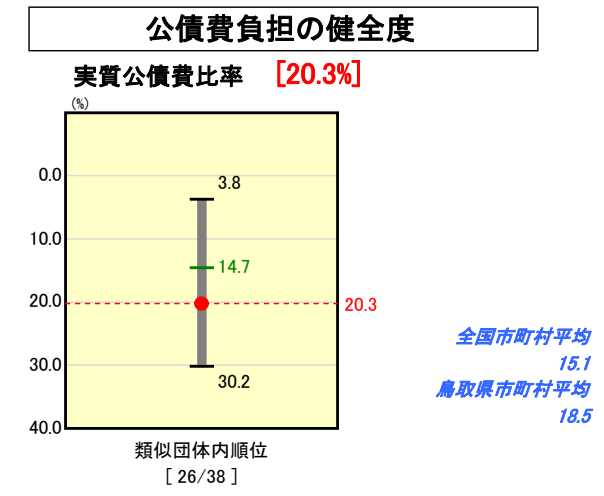
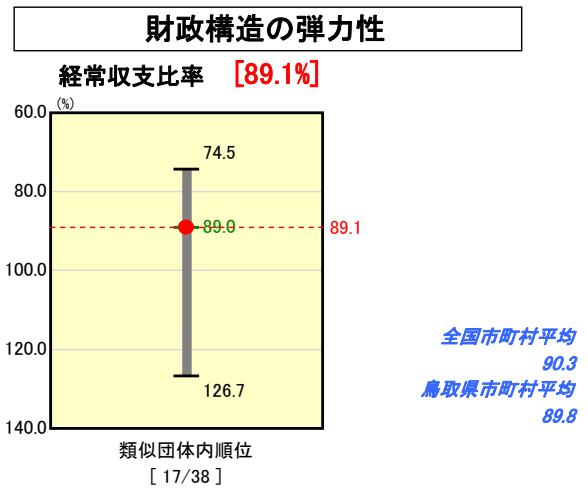
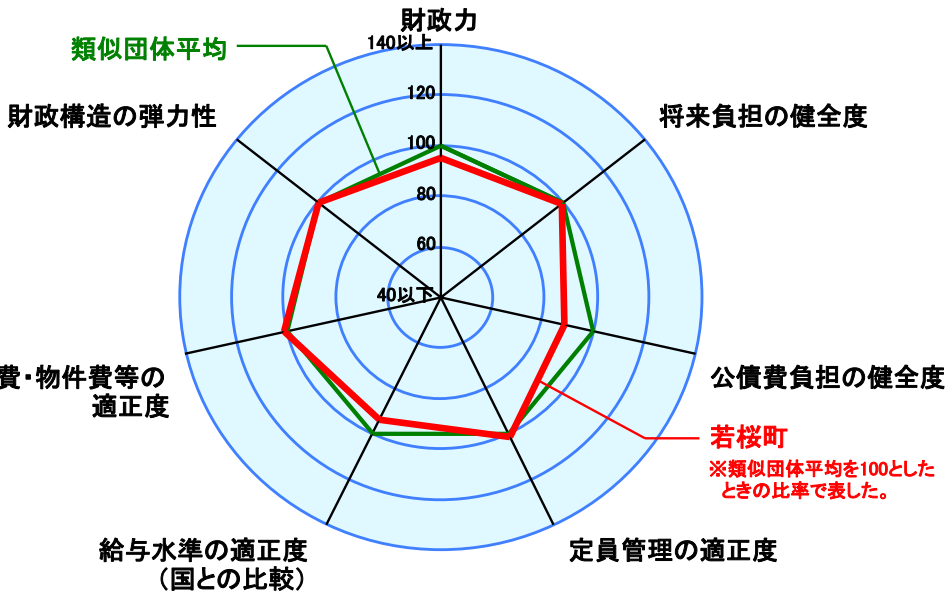
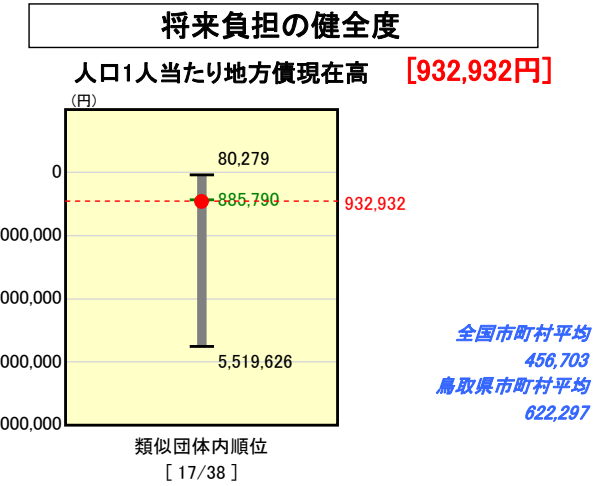
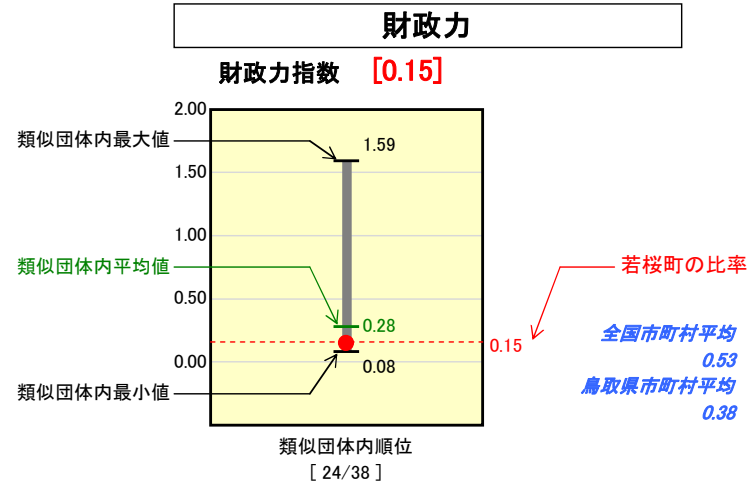


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

鳥取県 若桜町

人口	4,437	人(H19.3.31現在)
面積	199.31	km ²
歳入総額	2,978,333	千円
歳出総額	2,777,741	千円
実質収支	190,717	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

- 財政力指数**
人口減少や高い高齢化率(18年度末36.9%)に加え、町内に中心となる産業がないこと等により財政基盤が弱く、類似団体平均をかなり下回っている。若桜町自立促進計画に沿って歳出の徹底的な見直し(人件費5%~20%削減、補助金20%削減など)や行政の効率化を引き続き進める一方、産業の育成も推進し財政基盤の強化を図る。
- 経常収支比率**
若桜町自立促進計画に沿って歳出の徹底的な見直しや公債費の減少により前年度比較で0.3%減少し、ほぼ類似団体平均となった。今後は現在の水準を下回るようさらなる義務的経費の削減に努める。
- 人口1人当たり人件費・物件費等決算額**
若桜町自立促進計画に沿って歳出の徹底的な見直しを図り、人件費5%~20%削減や退職者不補充による職員削減、施設運営の見直し(指定管理者制度導入)などにより、類似団体平均より低くなっている。今後は人口減少のため、人口1人当たりの金額は増加することが推測されるが、現在の水準を維持するよう努める。
- ラスパイレズ指数**
平成17年度から若桜町自立促進計画に基づく職員の給与カット(5%)の実施しているが、前年度比較で0.4%上昇し、類似団体の平均を上回っている。現在の水準はほぼ全国町村平均にあるが、この水準を上回らないよう給与の適正化に努める。
- 人口1人当たり地方債現在高**
平成8年度から平成10年度にかけて実施した水ノ山開発事業(総事業費22.5億円、うち起債19.7億円)等により、一時は平成16年度末の51億円を最高に、平成18年度末で約41億円、平成20年度末で約35億円に減少し、平成20年度末には類似団体平均水準となる見込み。また、新規発行債の抑制等に努め財政の健全化を図る。
- 人口1,000人当たり職員数**
若桜町自立促進計画に沿って退職者不補充(5年間)を実施し、前年に引き続き類似団体平均を下回っている。今後は行政サービスの質の維持と類似団体平均を上回らない水準で適切な定員管理に努める。
- 実質公債費比率**
普通会計の公債費は平成16年度を最高に減少へ転じたが、公営企業会計(下水道事業、農業集落排水事業)は公債費のピーク(平成23年度ごろ)に向かっており、依然、類似団体平均を大きく上回っている。今後も公債費負担適正化計画に基づき新規発行債の抑制を図り、5年以内に類似団体平均まで水準を下げる。